

キリン「一番搾り」醸造家監修！

「一番搾り」のおいしさ引き立つ特別な「クラッツ」を江崎グリコと共同開発
「一番搾り」と特別な「クラッツ〈焼きもろこし〉」の限定パックを
7月21日（火）から数量限定※¹ 発売！

～クラッツの限定新味としても数量限定発売！おうち時間をもっと楽しく～

キリンビール株式会社（社長 布施孝之、以下：キリンビール）は、江崎グリコ株式会社（社長 江崎勝久、以下：江崎グリコ）と共同で「キリン一番搾り生ビール（以下、「一番搾り）」のおいしさを引き立てる特別な濃厚おつまみスナック「クラッツ〈焼きもろこし〉」を開発しました。7月21日（火）からは、「一番搾り」350ml6缶パックにミニタイプの「クラッツ〈焼きもろこし〉」※²を付けた限定パックを数量限定で発売します。この「クラッツ」は、同日より量販店などでも数量限定で発売※²されます。

※¹ 無くなり次第終了です。取り扱いのない店舗があります。

※² 内容量： 限定パック景品は14g、江崎グリコから発売の商品は42g



限定パック



「クラッツ〈焼きもろこし〉」（ミニタイプ・景品・14g）



「クラッツ〈焼きもろこし〉」（42g）

「クラッツ〈焼きもろこし〉」は、「一番搾り」と合う、夏の季節にぴったりな商品を目指し、キリン「一番搾り」醸造家である田山智広監修のもと、江崎グリコと共同で開発しました。数十種類の試作品を経て誕生した当商品は、とうもろこしの香ばしさが味わえ、北海道産とうもろこしの素材本来の甘みで、「一番搾り」の苦みがよりマイルドになり、相乗効果で双方の旨みが持続する味わいに仕上げました。

「一番搾り」は、「一番搾り製法」※³によって生まれる麦本来のうまみと、調和のとれた雑味のない味わいを評価いただき、2019年は「一番搾り」缶商品の販売数量が過去8年で最高※⁴となりました。また新型コロナウイルスの影響で「家飲み」が増える中、「おいしさ」と「信頼できるブランド」であることを評価いただき、6月の缶商品販売数量は前年比で1割以上増加しました。

当社は「一番搾り」と、江崎グリコと共同開発した特別な「クラッツ〈焼きもろこし〉」のおいしさを通じて、新型コロナウイルスの影響で増加した在宅時間を楽しく幸せなものにしています。

※³ 麦汁ろ過工程において最初に流れ出る一番搾り麦汁を使う製法

※⁴ 2012年～2019年「一番搾り」缶商品 出荷実績において

キリングループは、自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよろこびを広げ、こころ豊かな社会の実現に貢献します。